

第16回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会

平成17年7月30日(土) 光が丘体育館会議室

協議会検討事項記録

1 協議会に対しての保護者側のスタンスを宣言。

(保護者側) 協議会は、子どもたちの安全と安心を守るために行っていること。保育の質を下げたための協議に賛成することはない。

協議とは話し合っで決めることで、協議会は一方向的な説明を聞く場ではない
保育の質とは光八の質であって、総体としての質ではない。

保護者側は公平な議論を進めるため、特定の団体と通じることはない。

区が独自で進めている事業者選定に関して、保護者は一切合意していない。

2 区の対応策について

(保護者側) 選定委員会と選定会議の整合性について、行政上、問題が無いが。

(区側) 区の内部で、意思決定の手続きはされており問題は無い。

(保護者側) 基準に満たなかった事業者について、区が選びなおすと、なぜ基準を超えられるのか。

(区側) 選定委員会では評価が分かれた。改めて保育に責任を持つ行政として選定するもの。

(保護者側) 委員5名中、4名が最低基準に達していないと聞いているが。

(区側) 「達していない。」「十分。」「評価は不十分だが、区がフォローする条件付で選定できる。」と、評価が分かれたと認識している。

(保護者側) 年度途中の委託の実績が無いにもかかわらず、専門家の意見を切り捨てて評価するのは問題がある。

(区側) 年度途中の実績は無いが、他団体で実績がある事業者が公募条件で応募している。保育専門の現場調査部会を構成している。

(保護者側) すでに1事業者に決まっているのではないかとされているが。

(区側) 決まっていない。現時点で、1事業者が辞退のため、3事業者から選定する。

(保護者側) 現在、選定は進んでいると思うが、要綱はあるのか。

(区側) 要領で定めている。次回、提出する。

(保護者側) 園長の条件を変更したとき意見を聞いたという3事業者と、今回残っている事業者は重複しているか。

(区側) 事業者に意見を聞いたのは確かだが、重複するかは答えられない。

(保護者側) 今回の混乱の原因は、7月1日までに総括表をまとめられなかった区の事務方の不手際であり、遺憾である。

(区側) 事務方の問題ではなく、選定委員会の中でどうしても意見が合わなかった。

(保護者側) 約束されていた事業者の障害児保育について、難しい状況になってきたがどうするのか。

(区側) 区の研修スケジュールに合わない場合、違う研修等も考える。

(保護者側) 現在の選定について、保護者は一切合意していない。選定基準・選定内容等の資料を示されたい。

(区側) 資料は、8月1日(月)に配付したい。

8月5日(金) 予定の事業者決定を、8月12日(金)まで1週間延ばす。

次回日程 8/3(水) 午後7時から

以上